

いつまでも**快適・安全**

イキイキと暮らすために

高齢者や認知症の人の家庭用品の**誤飲・誤食**を防ぐ

花王株式会社

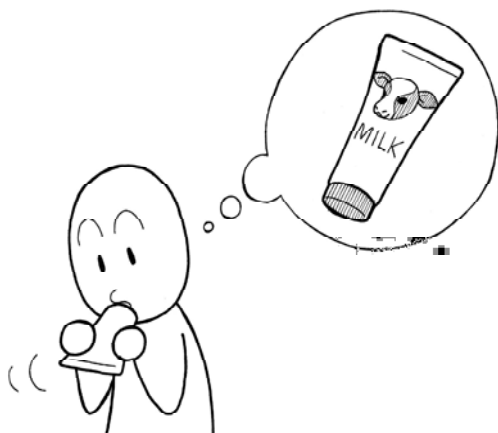
ユニバーサルデザインプロジェクト

高齢者や認知症の人の誤飲・誤食

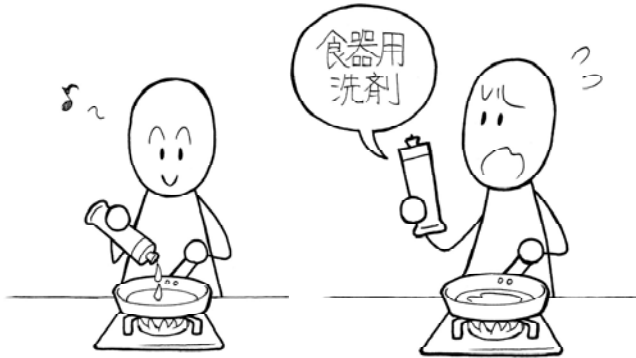
洗剤や化粧品などの家庭用品を誤って口にしてしまうケースは、子どもだけでなく、高齢者や認知症の人が関係するケースも目立つようになってきています。高齢者や認知症の人の中には、味やにおいを感じにくい人もいるため、周囲の配慮が必要です。中には、誤嚥（ごえん）性肺炎*などにつながるケースもあります。



ハンドクリーム
のチューブを
吸ってしまった



*口の中や胃の中のものが入って気管に入ってしまう（誤嚥）、その中に含まれている細菌が原因で肺炎になることがあります。これを誤嚥性肺炎といいます。



食器用洗剤を
食用油と間違えて
使った

その他のケース

- ・ コップを漂白剤でつけおきしていたら、自分でそのことを忘れて飲んでしまった
- ・ 食卓に置いていた洗濯用液体洗剤を、飲み物と思って飲んでしまった
- ・ 夜トイレに起きた際に、洗面所に置いてあった容器から洗剤を飲んでしまった
- ・ テーブルにあった試供品の炭酸入浴剤を、お菓子と間違えて口にしてしまった

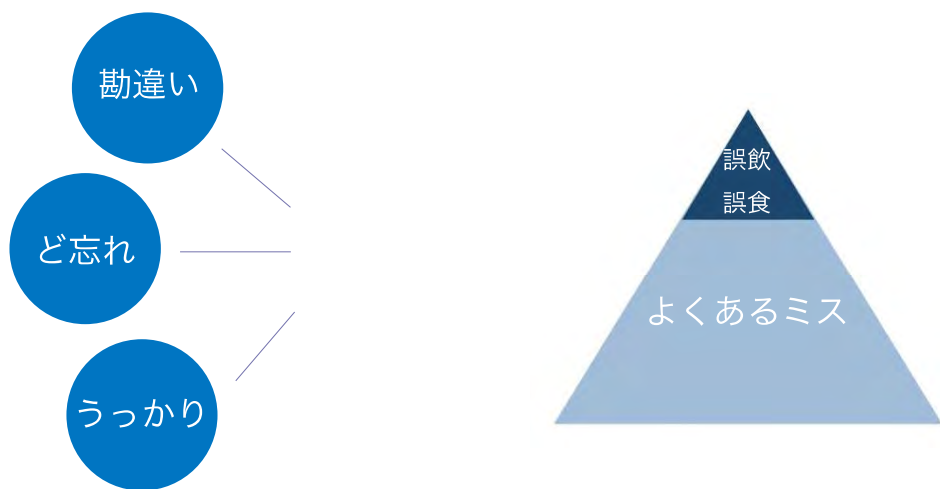
誤飲・誤食のリスク（洗剤の場合）

大量に飲んだり食べたりすると、重い症状が出る場合があります。
嘔吐した場合、誤嚥（ごえん）性肺炎を発症する場合があります。

参考：家庭用品誤飲の成人比率は19%にのぼります。（日本中毒情報センター 2018年受付データ）

なぜ、起こるのか？

誤飲や誤食は、高齢者や認知症の人に特有の原因で起こるものではなく、ほとんどの人が体験したことのあるような、生活の中でのちょっとした勘違いやうっかりミスがきっかけとなっていることが分かってきています。視力の低下や記憶・判断力の低下が、こうしたミスを助長し、誤飲を引き起こす要因になります。



こんな時代の変化も背景に

- 1 商品・デザインが多様に
- 2 世代によって使うものが違う
- 3 高齢者数の増加

認知症の人と誤飲・誤食

誤飲するケースの中で、認知症の人やその予備群の人が関係すると思われるものもあります。記憶力やものを何であるか認識する力などが低下することで、一般の人がうっかりで済むことが、重大な誤飲事故につながることもあります。事前に起こるかもしれないことを予想し、うっかりミスが起こりにくい環境の整備が大切になります。

やりたいことを自分でやって 快適に安全な日々を

認知症介護研究・研修東京センター
研究部長 永田久美子さん



- 1 ミスをする・危ないからと家事を遠ざけてしまうと心と体がどんどん弱まり、支援する側の負担も増える
- 2 やりたいことを本人が安全に続けられる支援をすることがお互いに楽になるコツ
- 3 誤飲誤食を防ぐ環境づくりを日常の当たり前

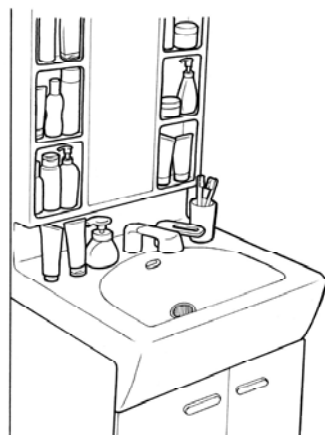
快適・安全に暮らすための工夫

要注意の場所

用途の違うモノと一緒に置かれる場所が要注意

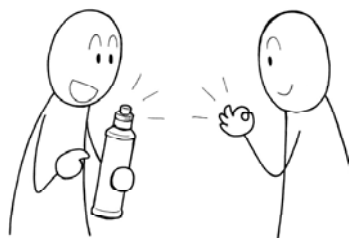


キッチン



洗面所

環境を改善するポイント



- ①ゾーンを分ける
- ②本人と家族(職員)でルールを決める
- ③目印をつける

※目印を付ける際は製品パッケージの説明・注意書き等の表示を隠さないようにしてください。

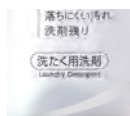
誤飲・誤食を防ぐ環境チェックリスト

- 誤飲・誤食につながるかもしれないヒヤリハットを経験したことがありますか？
- 現在、誤飲・誤食の起こる可能性のある人はいますか？
- 誤飲・誤食が起こり得る可能性がある場所はどこですか？
- 誤飲・誤食が起こりやすい時間帯はいつですか？
- 誤飲・誤食の危険性を減らすための具体策が話し合われ、実行されていますか？
- 家庭（施設）内で、高齢者の一人ひとりが習慣ごとややりたいことを楽しく、そして安全に続けていくための環境の工夫がされていますか？

花王のユニバーサルデザインへの取り組み

障がいのあるなし、年齢などにかかわらず、すべての人々に安心して、わかりやすく、使いやすいという視点で商品を開発することに努めています。例えば、使い間違いなどを防ぐために、商品にはわかりやすくカテゴリー表記を入れ、視覚に障がいのある方には点字付きのカテゴリーシールをお配りしています。その一環として、家庭用品でのうっかりミスを減らすためにこの冊子を作りました。

商品のカテゴリー表記



点字付きカテゴリーシールの配布



視覚に障がいのある方、ご高齢の方には無料で提供いたします。ご希望の方は、花王（株）社会貢献部までお申し込みください。

電話：03-3660-7057 FAX：03-3660-7994

E-mail:kouho@kao.co.jp

誤飲してしまったら

洗剤等の原液を大量に誤飲した時は、すぐに医師に連絡し、ご相談ください。
緊急時には救急車を呼んでください。

応急処置 SOS 製品を飲んだ、製品が目に入った時の応急処置のご紹介
<http://www.kao.com/jp/soudan/aid/>

公益財団法人 日本中毒情報センターのホームページにも、さまざまな家庭用品の誤飲・誤食の事故予防や処置方法が掲載されています。 <https://www.j-poison-ic.jp/>

この冊子についてのお問い合わせ

花王株式会社 生活者コミュニケーションセンター UD 推進室
〒131-8501 東京都墨田区文花 2-1-3 E-mail: consumer@kao.co.jp

発行：花王株式会社

制作：花王ユニバーサルデザインプロジェクト
家庭用品でのうっかりミス防止チーム

監修：永田久美子（認知症介護研究・研修東京センター研究部長）

協力：株式会社スマートエイジング

© 2019 Kao Corporation